

力を挙げて、必ず乗り越えていかなければならない試練であると考えています。

4期目に向けた具体的な所信につきましては、次期定例会において明らかにしてまいりたいと思いますが、本町が復旧・復興とその先の新しい時代に、「強靱でしなやかなまち」として、輝いて居られるよう、「関係人口の創出・拡大」、「多様な人材の活躍推進」、「新しい時代の流れを力にした持続可能なまちづくり」、そして「防災意識社会」を目指して、町民の皆様や関係機関、そして全国に広がるあつま応援団の皆様と協働して、厚真町の限りない潜在力を耕し直してまいりたいと考えています。

私たちは勇払原野の風雪に耐え、遠大な理想を持って繁栄の道を歩み続ける厚真町民です。いつの時代にあってもフロンティアと呼ばれる北海道は困難の中にありましたが、その反面、自然の恵みや潜在能力は無限大でもあります。自治体を取り巻く地域間競争が激しさを増す中で、コロナ禍がもたらす新生活様式、新しいビジネススタイルへの備えとイノベーションの実装や農商工或いは広域連携強化など様々なアプローチが必要不可欠です。町民一人一人の今を大切にしながら、守るべきものを守るためにも、私たちは明日を拓く挑戦者であり続けたいと願っています。

「意志あるところに道は開ける」の言葉の通り、確かな信念と情熱をもって、町民の皆様と連帯して、復旧・復興の道をたくましく歩み、その先にある北海道のオンリーワンを目指して、全力投入して参ります。

町民の皆様、また議会の皆様には、今後ともご指導ご鞭撻を賜りますよう心からお願いを申し上げ、就任のご挨拶とさせていただきます。

令和2年7月10日

厚真町長 宮坂尚市朗